

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

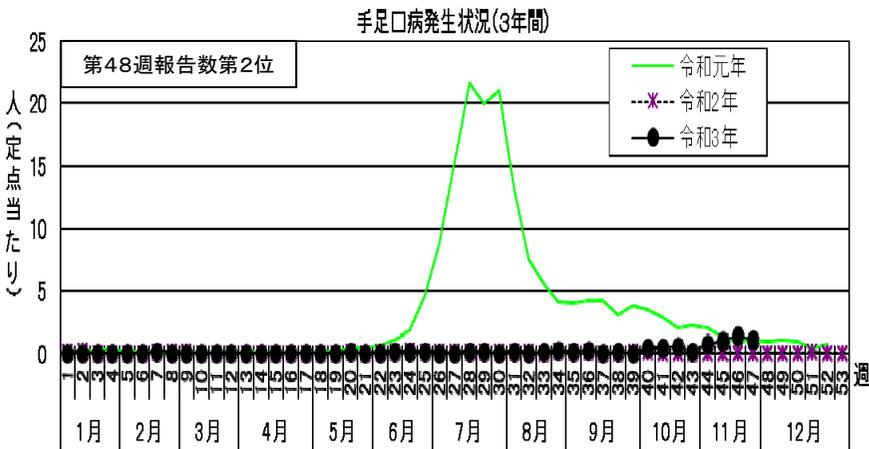
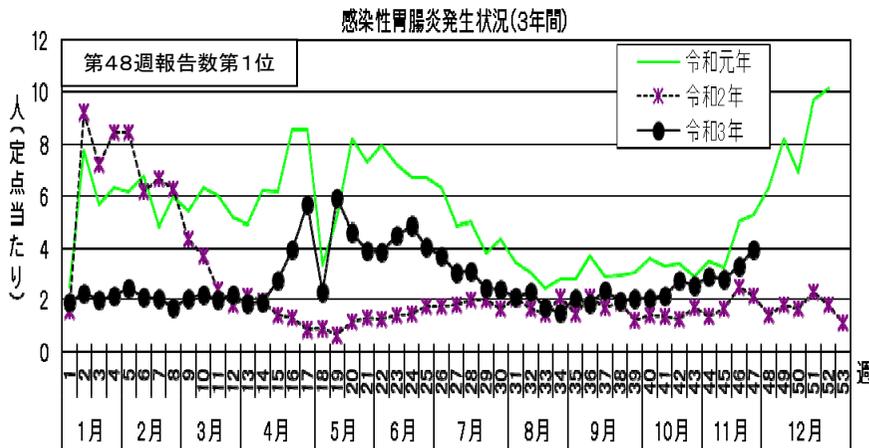
令和3年11月29日（月）～令和3年12月5日（日）〔令和3年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）手足口病 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.92人と前週（3.95人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は1.05人と前週（1.00人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.76人と前週（0.57人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



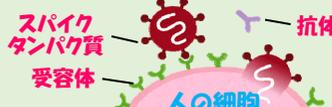
新型コロナウイルス感染症～変異株について～

新型コロナウイルスは、ウイルス表面のスパイクタンパク質と呼ばれる突起を使って、人の細胞内に侵入します。このスパイクタンパク質に様々な変異が起きると、変異の部位によっては感染性やワクチンの効果等が変化します。現在、アフリカ南部を中心に急速に拡大しているオミクロン株は、変異が非常に多く、その特徴などから、感染性が高くなっているのではないかとわれています。未だ不明な点が多いものの、重症化を防ぐためには、十分な免疫をつけておくことが重要と考えられています。

リスクの高い方は適切な時期に追加接種を実施して、高い抗体価を維持しておきましょう。

新型コロナウイルスの変異について

スパイクタンパク質が人の細胞の受容体に結合することで細胞内に取り込まれる。



従来ウイルス

変異ウイルス

スパイクタンパク質の変異により、受容体に結合しやすくなったり、抗体の持つ免疫効果が弱まることもある。



オミクロン株とは？

- 令和3年11月に南アフリカ共和国で最初に検出
- 従来株よりもスパイクタンパク質の変異が多く、特に感染性やワクチン効果にかかわる部位に多い。



- * 感染性が高くなる可能性
- * ワクチンや抗体治療薬の効果が弱まる可能性
- * 再感染を起こしやすくなる可能性

↓

南アフリカ共和国を中心に、我が国を含め世界49カ国で報告されている。（令和3年12月7日現在）